

## ■ “古美研の思い出” 角替 稔 さん〔1969年理工学部卒・彫刻班〕

思い起こせば青山学院に入学したのが1965年。落研か広告研究会に入ると決めていたが偶然同じ寮の松田先輩と出会い入った「古美研」。創部間もない部員10数名の愛好会だった。初めの頃は溜り場の喫茶店エンジェルでダベったり、たま〜に女性グループに連れられてNHK近くのイタリアン「トリコロール」で初めての「シュリンプトロピール」の美味。これが大学生活！と満足していた。

その内初代会長内田さんの繋がりや円覚寺合宿、夏の京都奈良合宿等と活動も広がり、全く縁がなかった「美」の彷徨が始まった。3年目には部員数も100名近くになり、愛好会から同好会に昇格、会長塚本、副会長鈴木のもとで彫刻、建築種村、絵画小宮、庭園岡の四班に分かれ、より深く古美術を知ろうと身の程知らずに彫刻班チーフとして活動する事になった。(後に会長になる朝倉や小倉、武、佐藤達がこの頃入部)

まだPCもなく、ガリ版などを駆使し資料を作り、青山祭には仏像研究で著名な久野健氏を招き講演して貰ったり、少しでも仏の心に近づこうと新聞紙の紙粘土で自分達で模造した仏像。皆で徹夜し青山祭当日の明け方に、心が通じたのか、完成。それでもボヤけたままの「美」。

会社員になり出向した台湾で訪れた仏教寺院。日本と異なり篤い信仰と民衆への奉仕活動、小高い丘に聳える巨大な仏は遍く威厳を示すシンボルだった。日本の仏像は当初異国から渡来したが独自に純化され理想を含め、時間の流れの中で仏師達の高い意欲とセンスが駆使され「美」迄高まったのでは無かったか。

フェノロサが廃れようとしていた仏像にこの「美」を見出し啓蒙し日本人の心に蘇らせた精神的理想的な「美」。山田寺の心と仏頭、神護寺薬師如来は圧倒的な量感の中に感じる安堵。運慶快慶の完成され安定した仏像……青春時代に彷徨った日本人の心の「美」だと思った。

【写真】〔右上〕山田寺仏頭・白鳳時代の大らかな微笑眼元に惹かれました。神護寺薬師如来・貞観時代一木造りの圧倒される量感に思わず跪きます。〔左下〕台湾高雄佛光山・山腹にそびえる高さ20mの阿弥陀如来。〔右下〕出来たばかりの古美研の皆と(欠席数名有)3列目右端が、学生服と髪の毛が初々しい頃の自分(自賛)。



## ■ “華麗なるクラシックバレエの世界” 井上(牛腸)多恵子さん〔1982年日本文学科卒・彫刻班〕

### 〈大人のバレエ〉

“バレエ”って小学生のお稽古だと思っているあなた！その考えは古いですよ！最近“大人のバレエ”が大人気なんです。街のバレエ教室やスポーツジムのスタジオレッスンで、大人バレエクラスが増えています。

私がバレエを始めたのは49歳の時。子どもの頃から憧れていたけど習う機会がなく、始めるなら今が最後のチャンスと思いチャレンジしました。

### 〈バレエの魅力〉

始めてみたら、これが楽しい！音楽に合わせて体を動かすのは本当に気持ちがいい。そして簡単ではないのですが、少しずつバレエの動きができるようになり上達すると、とても満足感があります。

週2回のレッスンと年1回の発表会、そして還暦を迎えた年に、赤いちゃんちゃんこならぬ“赤いチュチュ”(写真参照)を着てコンクールに出場しました。

バレエの魅力は、

- ① つま先で立ったりジャンプしたりするので、足腰が鍛えられ転びにくくなる。
- ② 血行が良くなり代謝が上がるので、太りにくい体質になる。
- ③ 振り付けを覚えるために頭を使うので、ポケ防止にもなる。
- ④ 発表会でコスプレできる(普段のレッスン着もレオタードなので、ある意味コスプレか)。

### 〈バレエを鑑賞する〉

私はバレエを見るのも大好きです。バレエは、高度なテクニックと表現力のある踊りと、音楽・衣裳・舞台装置などの総合芸術です。ルネッサンス期からの長い歴史を経て現代に受け継がれ、世界中の多くの人々に愛されています。

かつて古美研に在籍され高い審美眼をお持ちの皆さま方にも、ぜひバレエの素晴らしさを知っていただければと思います。

私のおススメは「白鳥の湖」「ドン・キホーテ」「海賊」です。YouTubeで世界の一流バレエ団の舞台を見ることができます。バレエに接したことのない方も是非一度ご覧になって「華麗なるクラシックバレエの世界」に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

